

## 「防災アシスト情報」

### もしも…・注意報・警報・特別警報が発表されたら!! ③

「防災アシスト情報」として、気象庁から発表される各種注意報・警報・特別警報について3回目の紹介をします。

#### 大雪

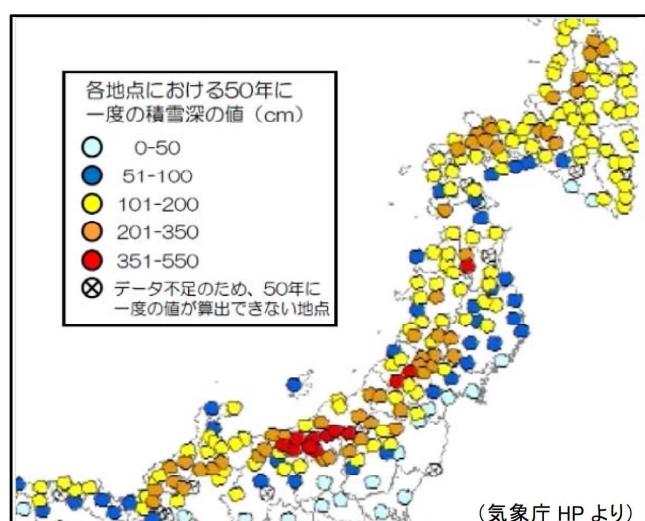
平成26年2月の記録的な大雪は、東北地方の各地で道路交通を混乱させるなど、生活に大きな影響を与えました。関東地方では2週連続の大雪警報が発表され、大雪により屋根の崩落や建物・工作物の倒壊等に被害が発生し、官庁施設においても駐輪場等の簡易な工作物の倒壊等が複数報告されました。

今回は、「大雪」の特別警報について、関連する注意報・警報と併せて紹介させて頂きます。

#### ■特別警報の指標

雪を要因とする特別警報を発表する際の指標は、以下の通りです。

**府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に、大雪特別警報を発表。**



「50年に一度の値」とは、50年に一回程度の頻度で発生すると推定される降雪量の値で、過去50年の間に実際に観測された値の最大値というものではありません。

東北地方の50年に一度の積雪深の値は、奥羽山脈に沿って201cm以上の地点が見られます。一方、宮城県や福島県の太平洋に面した一部の地域では、50cm以下の地点も見受けられます。

東北地方では、ほとんどの地域が豪雪地域、特別豪雪地域に指定されており、建築物や駐車場等も寒冷地仕様として積雪加重が考慮されていますが、50年に一度の積雪深の値が小さい、それ以外の地域では積雪加重が考慮されていない場合もありますので、特に大雪に対する注意が必要になります。

#### ■特別警報の指標を満たす事例(気象庁 HPより)

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者 231人 住家全半壊 1,735棟 床上・床下浸水 6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者 152人 住家全半壊 466棟 床上・床下浸水 8,097棟

## ■雪を要因とする注意報・警報・特別警報の種類と注意喚起・警告の内容(気象庁 HP より)

◆雪		◆風雪・暴風雪	
種類	内容	種類	内容
大雪注意報	大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。	風雪注意報	雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
大雪警報	大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。	暴風雪警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
大雪特別警報	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表されます。	暴風雪特別警報	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表されます。

<参考> 冬期に関係する注意報の種類(警報・特別警報がないもの)と注意喚起の内容(気象庁 HP より)

種類	注意喚起の内容
着雪注意報	着雪注意報は、著しい着雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。具体的には、通信線や送電線、船体などへの被害が起こるおそれのあるときに発表します。
着氷注意報	着氷注意報は、著しい着氷により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。具体的には、通信線や送電線、船体などへの被害が起こるおそれのあるときに発表します。
融雪注意報	融雪注意報は、融雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。具体的には、浸水、土砂災害などの災害が発生するおそれがあるときに発表します。
なだれ注意報	なだれ注意報は「なだれ」により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
霜注意報	霜注意報は、霜により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。具体的には、早霜や晩霜により農作物への被害が起こるおそれのあるときに発表します。
低温注意報	低温注意報は、低温により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。具体的には、低温のために農作物などに著しい被害が発生したり、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害の起こるおそれがあるときに発表します。

### 【留意すべきこと】

施設を管理する上では、積雪による建物の損傷や重大な事故等を防止するため、以下のようないくつかの対応が必要になります。(営繕とうほく 102 号、保全ニュースとうほく号外(2 号)2011 年 12 月等も参考にしてください。)

#### <雪が降り出す前に対応が必要な事項>

- ・ロードヒーティングやパラペット笠木ヒーターの融雪装置の作動状況の確認
- ・ルーフドレンの凍結防止ヒーターの作動状況の確認
- ・折板屋根の雪止め等、屋根部材の固定状況の確認
- ・除雪に備えた外部工作物や花壇の縁石の位置などの確認
- ・雨水枠、排水溝の堆積物の除去
- ・自転車置場や物置等の耐荷重（許容される積雪深さ）の確認
- ・除雪道具の準備、排雪場所の確保等
- ・停電に備えた懐中電灯、ポータブルラジオ、乾電池等の準備



#### <雪が降り始めた後に対応が必要な事項>

- ・歩行者通路、車路の確保  
(除雪や融雪剤の散布)
- ・避難経路の確保  
(非常階段や避難口等の除雪：特に外開き扉について  
は、積雪により扉が開かなくなる恐れがあります。)



【出入口前の積雪】

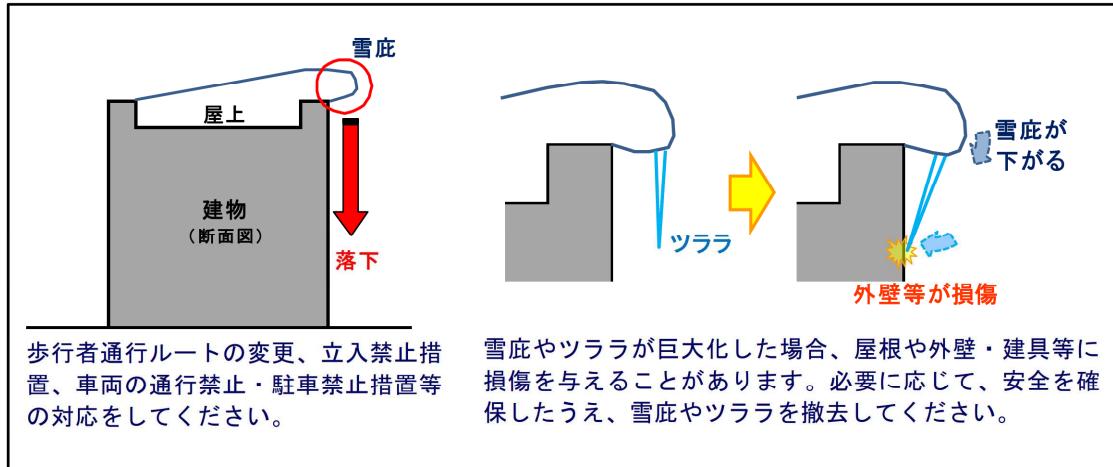
- ・排煙窓の開閉の確保  
(積雪やツララにより、外開き、外倒しの窓などが開かなくなる恐れがあります。)



【屋外機の埋没】

- ・設備機器類廻りの除雪  
(エアコンの屋外機等が雪に埋設してしまうと、破損や故障する恐れがあります。)

- ・屋上や庇、窓廻りなどの雪庇やツララへの対応（下図参照）



#### <雪が降り止んだ後に対応が必要な事項>

- ・屋根、パラペット、外壁、外部建具等の損傷の有無の確認
- ・外部舗装、視覚障害者用誘導ブロック等の損傷の有無の確認  
(除雪機を利用すると視覚障害者用誘導ブロックの凸部や駐車場の表示が削られてしまう場合があります。)



【路面塗装表示の損耗】

「もしも…注意報・警報・特別警報が発表されたら!!」連載の予定

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| ① 気象警報等の種類、特別警報の種類、大雨（1） | …130号（平成26年6月発行）   |
| ② 大雨（2）・暴風・高潮・波浪・暴風雪     | …131号（平成26年8月発行）   |
| ③ 大雪                     | …132号（今回）          |
| ④ 地震（地震動）・津波・火山噴火        | …133号（平成27年2月発行予定） |